

産業の振興

恵まれた自然のもと育まれる、長沼の農業。米作をはじめとして、全国でもトップクラスの出荷量を誇る「岩瀬きゅうり」のほか、「秋冬ニラ」、さやえんどう、なす、トマト、しいたけなど多くの野菜が出荷されています。私たちは、米の大規模営農への取り組みを着実に進めるとともに、特産農産物にも力を入れ、創意工夫と地域の自主性を活かした、新しい農業づくりをめざしています。

また、若者の地元への定着を図るためには、働く場の提供が必要です。町では工業団地の造成に取り組み、現在では三つの工業団地で十数社の企業が操業しています。長沼町は東北自動車道・須賀川・Cや福島空港に近く、町内の道路整備も進んでいることから、アクセス面の立地条件に恵まれています。今後は住環境も含めた社会基盤の整備を進め、企業活動をバックアップしていきます。

長沼の良さを広く知ってもらうためには、観光の振興は欠かせません。藤沼湖周辺は、温泉をはじめ、コテージ、オートキャンプ場など、本来の自然に囲まれたリゾート地として親しまれています。また、名産品の販売などを通し、『長沼にしかないもの』の良さをPRしていきます。

そして、地元の人に地元で買いたい物をとオープンした町内商店の共同店舗では、良い商品をより安く提供し、さらに子供からお年寄りまで親しまれるコミュニティの広場として、多くの町民からの好評を得ています。



**NAGANUMA
FUTURE**

◆ながぬまの可能性

美しい風土に蒔かれた夢の種が、
まちの未来を育もうとしている。

